

秋庭伸夫さんが全国32都道府県182点の頂点に！ お米番付第11回大会で最優秀賞を受賞！

1月29日に開催された株式会社八代目儀兵衛（京都市）主催の「お米番付第11回大会」で屯田町の秋庭伸夫さんが作ったお米「ゆきさやか」が最優秀賞を受賞し、2月26日、その受賞報告のため応接室を訪れました。

この大会は、ミシュランガイド三つ星の日本料理店店主や京都・祇園の料理人ら5人が食味し、「甘さ」「ツヤ」「白さ」など7項目で審査する大会となっています。

第11回大会では32都道府県182点の応募があり、最優秀賞を受賞した秋庭さんは、「最優秀賞を受賞できて泣きたくなるくらい嬉しかった。賞を取れたのも地域と人に恵まれた結果だと思っています。これからも美味しいお米を作り、剣淵町の米や農産物を盛り上げていきたいです。」とこれからの取組に対しての抱負が述べられました。

早坂町長は、「剣淵町の生産者が最優秀賞に入るのは2人目でとても嬉しいこと。これからも挑戦し続けて頑張ってください。」と激励の言葉が述べられました。

受賞した秋庭さんのお米は、米料亭八代目儀兵衛で提供され、また株式会社八代目儀兵衛を通じて海外にも販売される予定となっています。

【ゆきさやかとは？】

雑味が少なく白さが際立っているのが特徴で、北海道米の「ゆめぴりか」と比べて栽培農家はまだ少ないお米です。



剣淵小学校・中学校・高校で卒業式を挙行

3月1日の剣淵高校を皮切りに、町内の小・中学校において卒業証書授与式を挙行されました。

今年は、小学校20名、中学校21名、高校22名の総勢63名が卒業しました。

式を終えた卒業生は、それぞれの目標や道に向かって希望を胸に、思い出がたくさん詰まった校舎を後にしました。

日本赤十字社北海道支部から 災害救援車「博愛号」を寄贈

3月5日、札幌市において、赤十字災害救援車「博愛号」の引渡式が行われました。

この車両は、町の防災、福祉活動の充実を図るために日本赤十字社北海道支部より剣淵町へ寄贈されました。

早坂町長は、「この度は車両の寄贈ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉が述べられました。

